

## 編集後記

本号の投稿締切日は2月末ですが、2月27日になっても原稿が1編しか投稿されなかったため、締切日を1ヶ月延長したところ、その直後多数の原稿が投稿されて、最終的には14編の原稿が集まりました。投稿原稿数を予想することはなかなか難しいもので、締切日が近付くと何時も不安な気持ちになります。

本号の巻末に、1994年の業績目録が掲載されています。例年のごとく著書、論文および学会報告の数を調べましたところ、著書10篇、論文120篇、学会報告257題でした。昨年は、著書12篇、論文132篇、学会報告241題、一昨年は、著書12篇、論文157篇、学会報告209題でしたので、学会報告数は多くなっていますが、論文数が連続減少しています。一寸気になる数字です。

本号から、表紙の色が変わります。松本歯学の表紙は、第1巻から第10巻までが緑、第11巻から第20巻までが赤でした。この2つの色は、2つある松本歯科大学校旗のうち三色旗とよばれている校旗の色です。しかし、三色旗の第3の色は白ですので、第21巻からはいま一つの校旗の色(鳩羽紫)を使うことにしました。どのような表紙になるか楽しみです。

昨年にもいろいろと大きな事件がありましたが、今年はそれを上回る大事件が起きています。1月には5千人以上の死者を出した関西大震災が発生しましたし、3月には昨年起きた松本市深志のサリン事件の続きと思われるサリン事件が東京の地下鉄構内で発生しました。どのような目的で松本市深志や東京地下鉄構内でサリンを撒いたかこの雑誌が発行される頃には分ってるかも知れませんが、サリンの効果を調べる実験として行ったのだとしたら、今後大量に撒く可能性もあることになり恐ろしい気がします。松本歯学を含め、万事穏やかに順調に進行して行って欲しいものです。

(野村浩道)

---

松 本 歯 学            第21巻 第1号            (非売品)

1995年4月25日 印刷            1995年4月30日 発行

編集兼発行者    小 林 茂 夫

発 行 所            松本歯科大学学会

399-07 塩尻市広丘郷原1780    電話 0263-52-3100

印 刷 所            電算印刷株式会社

390 松本市筑摩1-11-30    電話 0263-25-4329

---